

議事録

1. 件名：「令和 5 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」で実施する試験体の載荷試験の現場確認(第 2 回)
2. 日時： 令和 5 年 8 月 29 日(火) 13:30~17:00
3. 場所： JEF テクノリサーチ株式会社 長沼試験場(対面及び web 会議)
4. 出席者： 原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門
杉野安全技術管理官、日比野総括技術研究調査官、平松主任技術研究調査官、森谷副主任技術研究調査官、川内技術計画専門職、小林技術計画専門職、飯場技術参与、石田技術参与、猿田技術参与、高松技術参与

原子力規制部審査グループ 地震・津波審査部門
堀口上席安全審査官、服部主任安全審査官、安田主任安全審査官、府川安全審査官、三善安全審査官、谷口技術参与、中房技術参与、日南川技術参与、三浦技術参与

東芝エネルギーシステムズ株式会社
パワーシステム事業部 原子力システム設計部 シニアマネジャー ほか 4 名
パワーシステム事業部 原子力プラント設計部 マネジャー附 ほか 2 名
パワーシステム事業部 原子力技術部 シニアエキスパート

鹿島建設株式会社
原子力部 技師長 ほか 1 名
原子力部 原子力設計室 設計室長 ほか 4 名
技術研究所 主任研究員

JEF テクノリサーチ株式会社
構造材料ソリューション本部 構造性能センター 主査
営業本部 東日本第 2 営業部 主査

国立大学法人東京工業大学
名誉教授

国立大学法人東京大学
大学院工学系研究科 建築学専攻 教授

5. 要旨:

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を令和3年度から令和6年度にかけて計画し、実施している。

当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和5年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性を検討するための試験体の載荷試験」事業を実施している。

今回は、当事業で実施する試験体の載荷試験の2回目の現場確認を行った。内容は下記のとおり。

- ① 試験体の載荷試験の状況を確認した。
- ② 計測した試験データの速報値や今後の試験結果の分析方法について質疑があり、議論した。
- ③ 試験結果をFEMにより詳細に分析し、その挙動を理解することが重要であるとのコメントがあった。
- ④ 今後のスケジュールについて、確認した。

6. その他

特になし